

三井物産グループ鉄鋼事業の一部譲受け と資本関係強化に関する参考資料

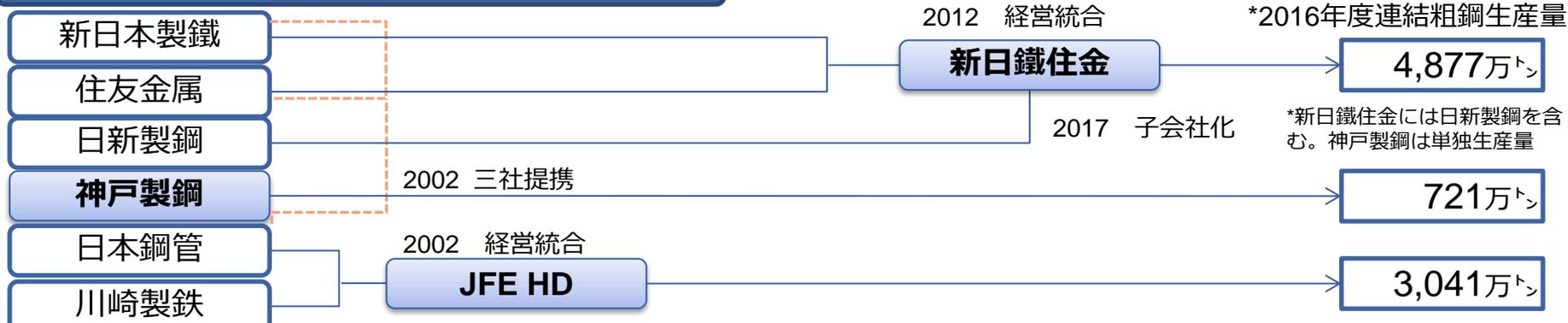
2017年10月4日



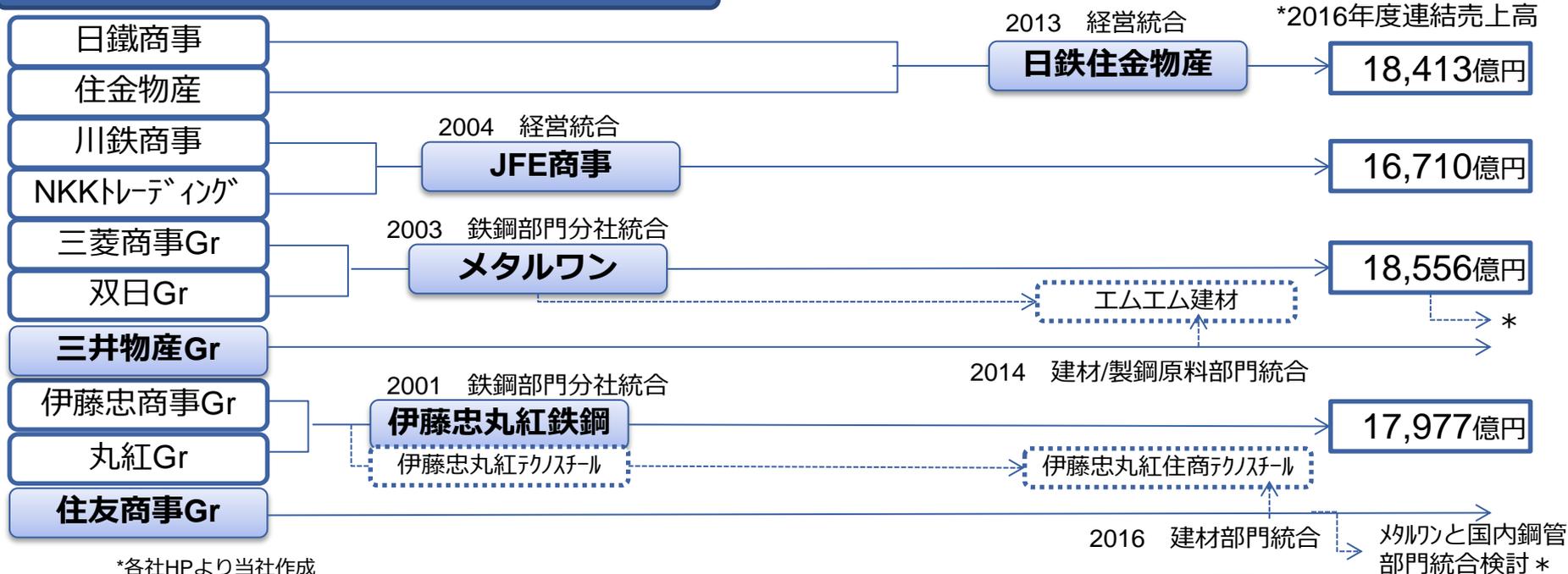
日鉄住金物産株式会社
NIPPON STEEL & SUMIKIN BUSSAN CORPORATION

本件の背景：高炉メーカー／流通再編の進展

高炉メーカー再編の進展



鉄鋼商社再編も活発化



*各社HPより当社作成

本件の目的：新日鐵住金グループ中核商社としての成長・発展

日鉄住金物産

新日鐵住金グループの中核商社として鉄鋼事業の一層の成長・発展を図る

三井物産グループ

鉄鋼事業の更なる成長に向けて事業再編による収益基盤強化を検討

両社の企図が合致



当社が三井物産グループの鉄鋼事業の一部を譲り受けるとともに、両社の資本関係を強化し、協業関係を深化

顧客満足度の一層の向上

鉄鋼事業競争力向上および拡充

グローバル戦略の加速

本件の概要

● 事業譲受

当社が三井物産グループの鉄鋼製品事業の一部（売上高 約3,700億円）を譲受
（譲受価額 約600億円）

● 第三者割当増資等による資本関係強化

三井物産が第三者割当引受（135万株）+ 相対取引等による取得により当社を持分法
適用会社化（議決権比率11.0%→20.0%）



日鉄住金物産
鉄鋼事業本部



三井物産鉄鋼製品本部
MITSUI & CO.

売上高 14,484億円
販売量 1,379万トン*

2017年3月期実績
*販売量は単独

約3,700億円
約 400万トン

事業譲受
約600億円

資産 約1,000億円
負債 約 400億円

国内向 60%

各需要分野

輸出向40%

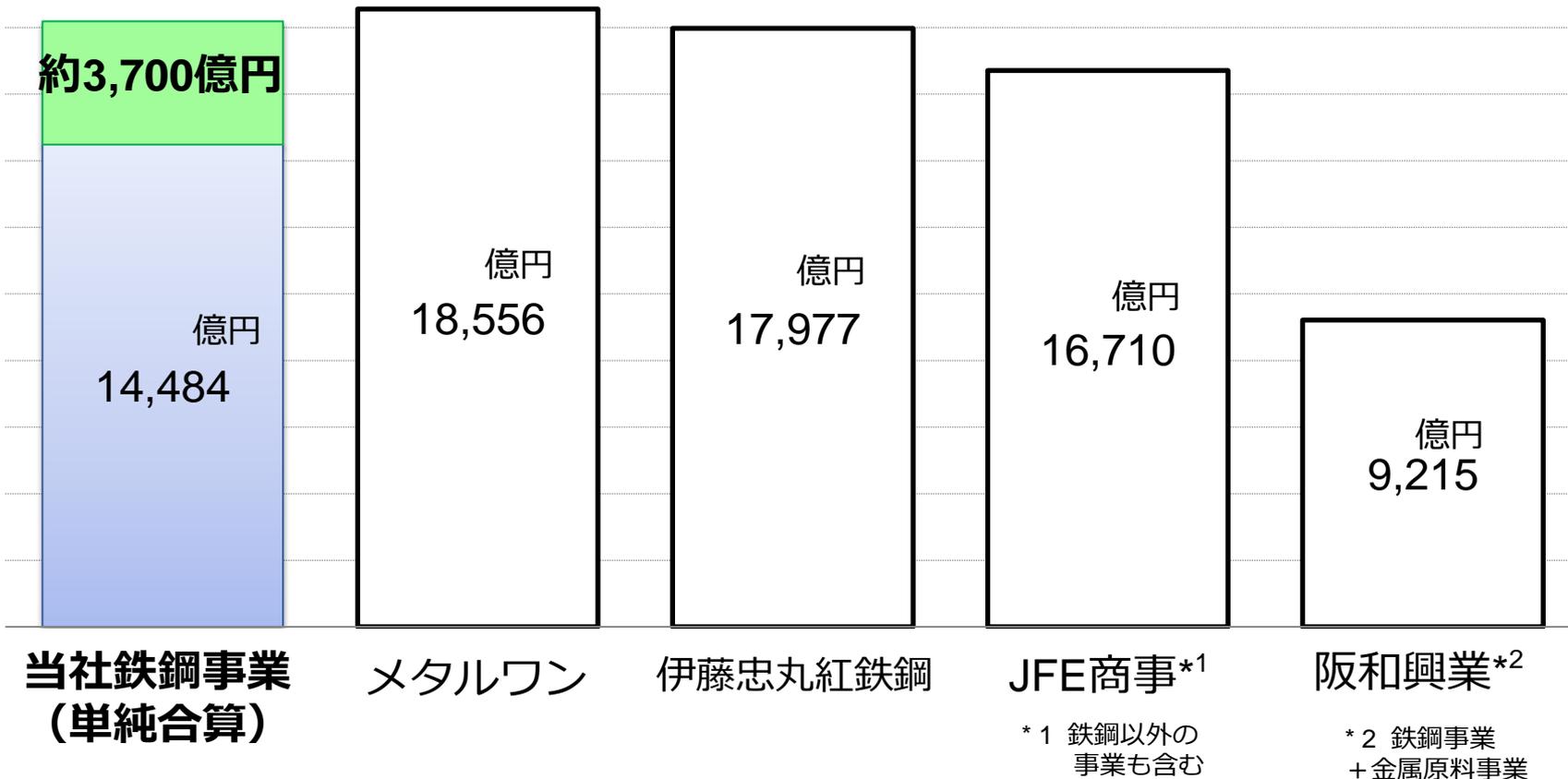
アジア向け主体

薄板、厚板、鋼管
特殊鋼、ステンレス等

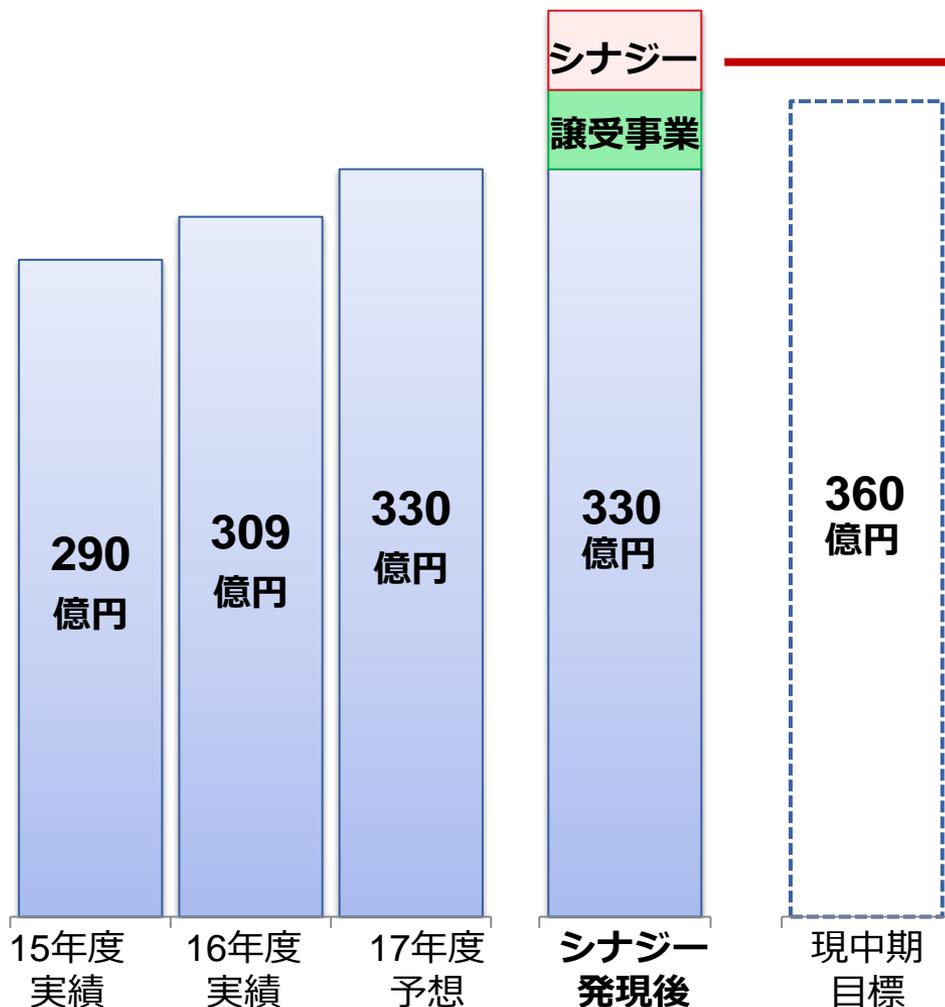
国内トップクラス鉄鋼商社事業の構築

主要鉄鋼商社売上高（2017年3月期）

約18,200億円



本件後の当社連結経常利益イメージ



期待シナジー効果

- ✓ 海外における三井物産グループのSCMの活用
(海外コイルセンター、海外物流網・サービス網)
- ✓ 三井物産の顧客基盤の活用
(自動車分野、資源エネルギー分野)
- ✓ 両社の営業基盤を活用したビジネス展開
- ✓ 内外加工流通分野の競争力強化

(参考) 三井物産鉄鋼製品本部の2017年3月期経営成績：親会社株主に帰属する当期利益 69億円

今後のスケジュール

2017.3.22	検討開始
2017.9.29	正式契約締結
2017.10月～	事業譲受準備 各国関係当局への届出

(各国関係当局の許可取得後)

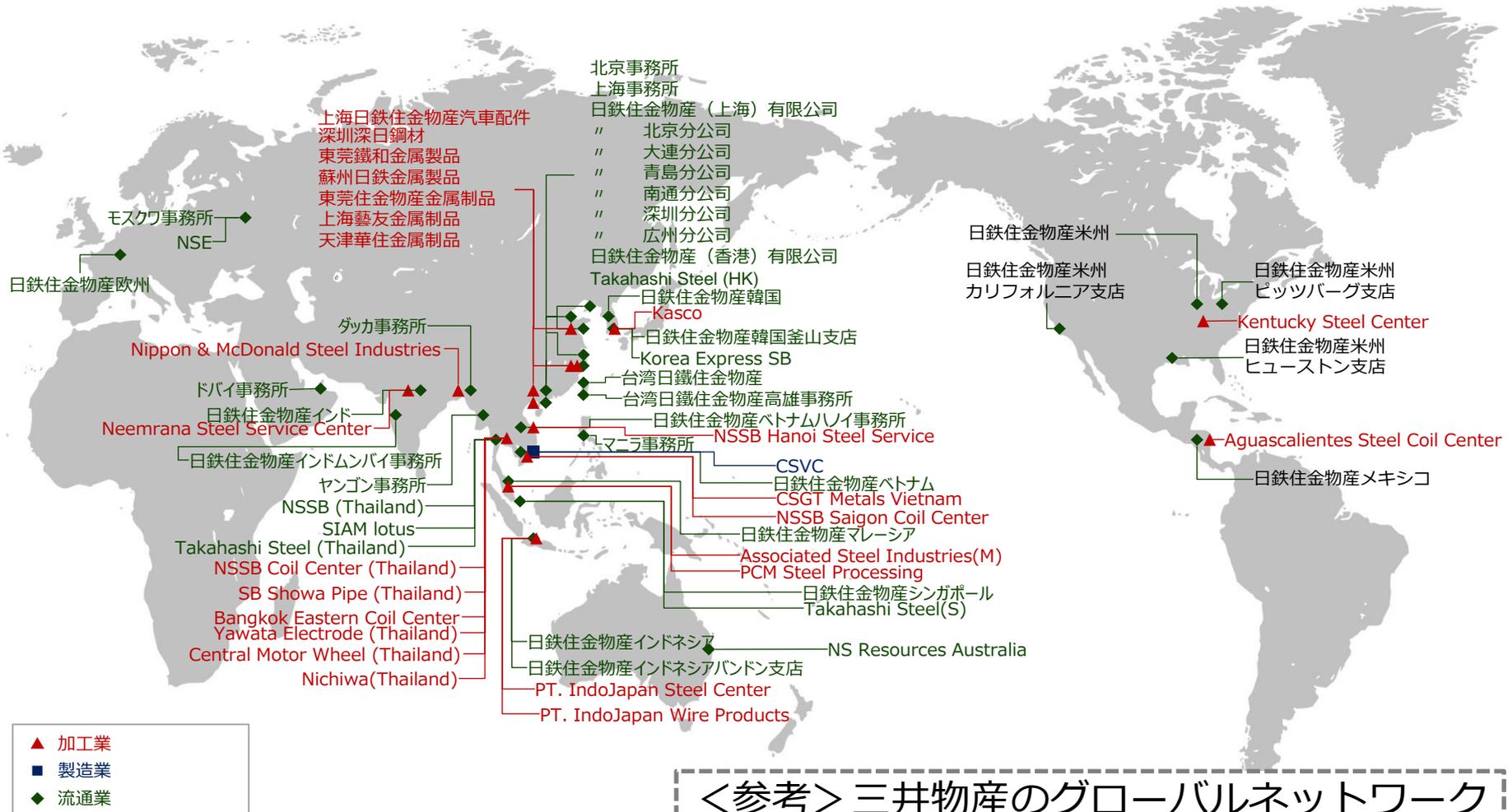
2018.4.1 (予定)	事業譲受の実行
2018.4.2 (予定)	第三者割当増資実行

2018.5月 (予定)	2017年度決算発表 新中期経営計画の発表
--------------	--------------------------

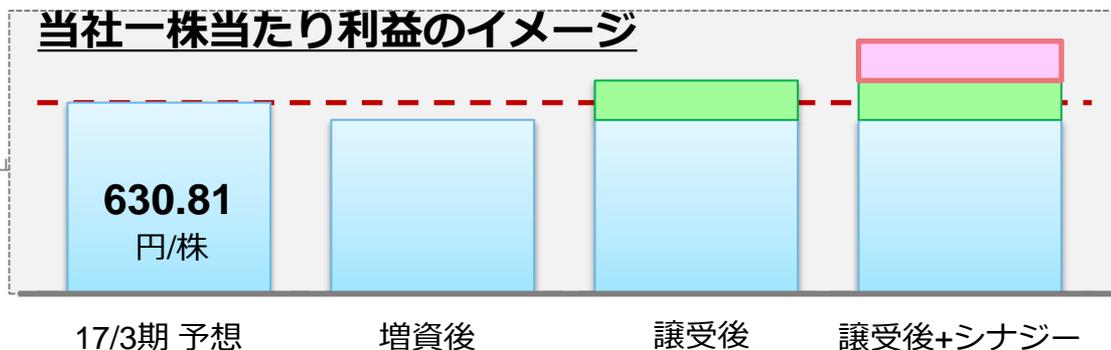
【参考1】 当社鉄鋼事業本部の海外拠点

(2017年9月末現在)

18カ国 69拠点



【参考2】 第三者割当増資価格の水準



日鉄住金物産株式会社企業理念

1. 新たな社会的価値を持った製品、サービスを生み出す
高い志を持った企業グループであり続けます。
2. 信用、信頼を大切にし、お客様と共に発展します。
3. 人を育て人を活かし、人を大切にする企業グループを創ります。

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、開示の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されまことはお控えくださいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。



日鉄住金物産株式会社

NIPPON STEEL & SUMIKIN BUSSAN CORPORATION